

書誌学の誕生

—コンラート・ゲスナー『万有書誌』の研究

雪嶋 宏一 著

A5・450頁 定価16,500円(本体15,000円+税10%) ISBN978-4-8169-2947-2 2022年12月刊行

- スイスの博物学者、言語学者であるコンラート・ゲスナー(1516-1565)の代表作『万有書誌』の問題点を明らかにし、ヨーロッパにおける書誌学誕生の経緯を実証・解明する研究書。
- ゲスナーが利用した情報源について1点ずつ現物確認。収録著者名を全て洗い出し、その著作(写本・印刷本)を徹底調査。書誌記述の独創性や正確性、分類体系や文献の採録方法・特徴などを詳細に解説。
- 豊富な注、図版、表により初学者が西洋書誌学を理解するためにも役立ちます。
- 「図表一覧」「参考文献一覧」「索引」付き。

■ 著者プロフィール ■

雪嶋 宏一 ゆきしま・こういち

1955年生。早稲田大学第一文学部卒。同大学図書館司書を経て、早稲田大学教育・総合科学学術院教授(図書館情報学、西洋書誌学)。国内所在の西洋15世紀印刷本を研究調査し、さらに16世紀印刷本の近代化の過程を研究。2017年第19回図書館サポートフォーラム賞受賞。

著書に『Incunabula in Japanese Libraries (IJL2)』(Yushodo Press, 2004)、『スキタイ騎馬遊牧国家の歴史と考古』(雄山閣、2008年)、『アルド・マヌーツィオとルネサンス文芸復興』(東京製本倶楽部、2014年)など。

目次

まえがき

- 序章 活版印刷術と書誌学
- 第1章 コンラート・ゲスナーの生涯
- 第2章 コンラート・ゲスナー『万有書誌』の研究史
- 第3章 ゲスナー『万有書誌』の体系
- 第4章 『万有書誌1』の印刷ヴァリエーションについて
- 第5章 『万有書誌1』に収録された著者とその情報源
- 第6章 『万有書誌1』の情報源の一例
—「アンゲルスの良心問題大全」について
- 第7章 『万有書誌1』の書誌記述要素の
起源と成立について
- 第8章 『万有書誌1』に収録された印刷本について
- 第9章 『万有書誌1』に収録された印刷本の版の確定
- 第10章 『万有書誌1』に収録されたアルド版について
- 第11章 『万有書誌2』および『万有書誌3』の分類体系
- 第12章 『万有書誌』と宗教改革
- 第13章 図書館史の史料としての『万有書誌』
- 終章 書誌学の誕生

あとがき

図表一覧

参考文献一覧

索引

2022.11

お問い合わせは… 日外アソシエーツ 営業局

TEL.03-3763-5241(代) FAX.03-3764-0845

〒140-0013 東京都品川区南大井6-16-16 <https://www.nichigai.co.jp/>

■ 貴店名

注文書

書誌学の誕生

—コンラート・ゲスナー『万有書誌』の研究

定価16,500円(本体15,000円+税10%)

ISBN978-4-8169-2947-2

冊



9784816929472

『書誌学の誕生—コンラート・ゲスナー『万有書誌』の研究』 内容見本

第7章 『万有書誌1』の書誌記述要素の起源と成立について

第5節 ゲスナーの情報源 I. 分野別の情報源

第5章でゲスナーの情報源について簡略に言及したが、『万有書誌1』の情報源について改めて整理してみよう。これらの情報源を次のように3つに大別して概観する。

I. 分野別の情報源

1. 聖職者に関する情報源
2. 散逸した古代文献の情報源
3. 医学関係の情報源
4. 法学関係の情報源
5. 古典の情報源
6. 詩人に関する情報源

II. 図書館の蔵書および蔵書目録

1. 実際に利用した図書館の目録
2. 図書館蔵書目録のみを利用した図書
3. 利用したのか目録情報のみを知って

III. 印刷販売書目録

本節では、ゲスナーの書誌記述要素の源どうか検討してみよう。

1. 聖職者に関する情報源

ゲスナーにとって聖職者に関する情報のス『聖職にある著者たちあるいは貴顕なるスは、古代末期のヒエロニムス『聖職に紀のゲンナディウス『貴顕なる人々の目録を基礎として、15世紀末までに執筆活動を追加して、著者を死亡年順に配列した。ムスとゲンナディウスの目録はバーゼルの

第11章 『万有書誌2』および『万有書誌3』の分類体系

表11-3 ペリカンとゲスナーの分類体系の比較

ペリカンの分類	ゲスナーの分類			
Grammatica 文法	学 芸 と 学 識 を 包 含 す る 哲 学	必 修	言 葉 の 学	I.De Grammatica & Philologis 文法、文献学
Logica 論理学				II.De Dialectica 論理学
Rhetorica 修辞学				III.De Rhetorica 修辞学
Arithmetica 算術				IV.De Poetica 詩学
Geometria 幾何学		教 養	数 字 の 学	V.De Arithmetica 算術
Musica 音楽				VI.De Geometria, Opticis & Catoptricus 幾何学、光学、反射
Asrtronomia 天文学				VII.De Musica 音楽
Theologia biblica 聖書神学				VIII.De Astronomia 天文学
Theologia Scolastica スコラ神学				IX.De Astrologis 占星術
Theologia Heretica 異教神学	選 択		IV.De Poetica 詩学	
Philosophia 哲学			X.De Diuinatione cum licita tum illicita, Magia 正当・不当な予言、魔術	
Philosophia Naturalis 自然哲学			XI.De Geographia 地理学	
Philosophia Medica 医学哲学	実 体		XII.De Historijs 歴史	
Philosophia Moralis 道徳哲学			XIII.De diuresis Artibus illiteratis, Mechanicis, & alijs humanae uitae utilibus 文字によらない諸芸、工学、有用な伝記	
Jus Ciuile 市民法			XIV.De Naturali philosophia 自然哲学	
Jus Pontificium 教会法			XV.De prima philosophia seu Metaphysica, & Theologia gentilium 第一哲学あるいは形而上学、異教神学	
Oratoria 雄弁術			XVI.De Morali philosophia 道徳哲学	
Historica 歴史			XVII.De Oeconomica philisophia 家政哲学	
Poetica 詩学			XVIII.De re Politica 政治学	
Geographica 地理学			XIX.De Iurisprudentia indices tres 法学	
Superstitio 迷信			XX.De re Medica 医学（未刊）	
			XXI.De Theologia Christiana キリスト教神学（『神学の分類』）	